



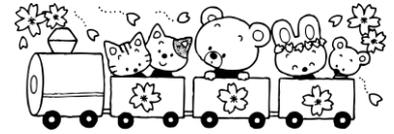
園だより

令和3年4月13日

佛教大学附属幼稚園

「仏教保育 4月のねらい」

合掌聞法



「はじまりの月」

園長 佐藤和順

ご入園・ご進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

4月は出会いの月です。幼稚園は、入園した園児には、初めて経験する集団生活の「場」になります。大好きな家族と離れての生活。園児、保護者にとっても期待よりも不安が大きいことでしょう。また、進級した園児は一つ学年が上がることにワクワクする半面、新しいクラスの友達や先生と仲良くできるのかドキドキしていることでしょう。私たち教職員も、どのようなお子さんなのか、どのような楽しいことがあるのかとドキドキ、ワクワクしております。期待や不安が入り混じる4月ですが、園児には集団生活の楽しさ、友達と遊ぶことの楽しさをしっかりと伝えたいと思います。

昨年度はご承知のように社会全体がコロナ禍に振り回されたように思います。附属幼稚園でも臨時休園や保育・行事の見直しをせざるを得ませんでした。収束に向かってはいるようですが、まだまだ安心はできません。健康が子どもの成長の基盤となります。園はもちろんのこと、ご家庭でも配慮いただき、安心安全な園生活を送れるように、ご協力の程お願いいたします。

さて園だよりの「園長のことば」では、園児や保護者の皆さまに伝えておきたいことや考えてほしいことをその月の保育目標にそって簡単にご紹介いたします。家庭での子育ての一助としていただければ幸いです。

今月の保育目標は「合掌聞法(がっしょうもんぼう)入園・進級を喜び園生活に親しもう」です。「合掌」とは、両方の手を合わせるという動作で、自分は争わないという姿を表しています。「聞法」とは、道理を知る、相手の話をよく聞くという意味です。仏・法・僧の三宝を敬う形が合掌であり、自分自身を大切にするとともに他人を敬い、その教えを聞くことを目指すのが今月の目標です。争わないことは、人間関係をつくる前提となります。人間関係を構築し、人の話を素直に聞くことは、社会性を養う第一歩なのです。園児に「合掌聞法」を育てるためには、私たち大人が良いお手本となり、子どもの話にしっかり耳を傾けることが大切です。新しいクラスのこと、友だちのこと、先生のこと、園での経験など、園児は帰ってからたくさんのお話をすることでしょう。その時は、ぜひ「合掌聞法」の心でしっかり聞いてあげてください。

教職員一同も「合掌聞法」の心で園児に接し、楽しい園生活を送ることができるよう努力してまいります。1年間、よろしくお願いいたします。

